

## 1 5歳児プログラムとは

小学校への移行をスムーズにするための指導内容を明記した基本的なプログラムとして平成23年度から実践している。公立園全園で実践しており、民間園では一部の園で教育・保育の振り返り等で活用されている。本プログラムは、次の3つの柱から成り立っており、それぞれ小学校への移行を意識し、「育てる子どもの姿」をイメージして具体的な指導内容を示している。

【3つの柱】 ・ 基本的生活習慣 ・ 他者とのかかわり ・ 学びのめばえ

## 2 指標に関する見取り調査について

公立園において、具体的な指導内容の各項目について指標を設定し、6月期及び12月期に5歳児担任の見取りによる調査を実施している。

## (1) 調査結果(平成28年度) 【資料3 別紙】参照

## 「できる」「まあまあできる」の割合が高い項目

項目	視点
季節の変化や自然に興味・関心を持つ	自然の不思議に気付き、伝え合ったり、図鑑で調べたり、遊びに取り入れたりすることができる
保育者との信頼関係を築き思ったことを伝える	自分の思いやわからないことを自ら保育者に伝え、尋ねたりすることができる
ひとつのことに集中して取り組む	ひとつのことを一生懸命にやり遂げることができる
身近にあるものを使って、思いを表現する	見たこと、聞いたことや感じたことを、製作活動や合奏・劇遊びなどで表現できる。

## 「できる」「まあまあできる」の割合が低い項目

項目	視点
食事のマナーを身に付け楽しく食べる	箸を正しく持って食べることができる
友達と互いに認め合う関係を築く	自分の考えを伝え、相手の考えを聞くことで自己統制できる
自分で持ち物を管理する	自分の持ち物やロッカーの道具箱を整理・管理できる
集中して話を聞く	姿勢よく座り、保育者の話を集中して聞くことができる

## (2) 調査結果の分析

「できる」「まあまあできる」の割合が高い項目は、園(保育士)のかかわり方の影響を強く受ける項目が多い。

「できる」「まあまあできる」の割合が低い項目は、家庭における生活習慣の影響が反映される項目が比較的多い。

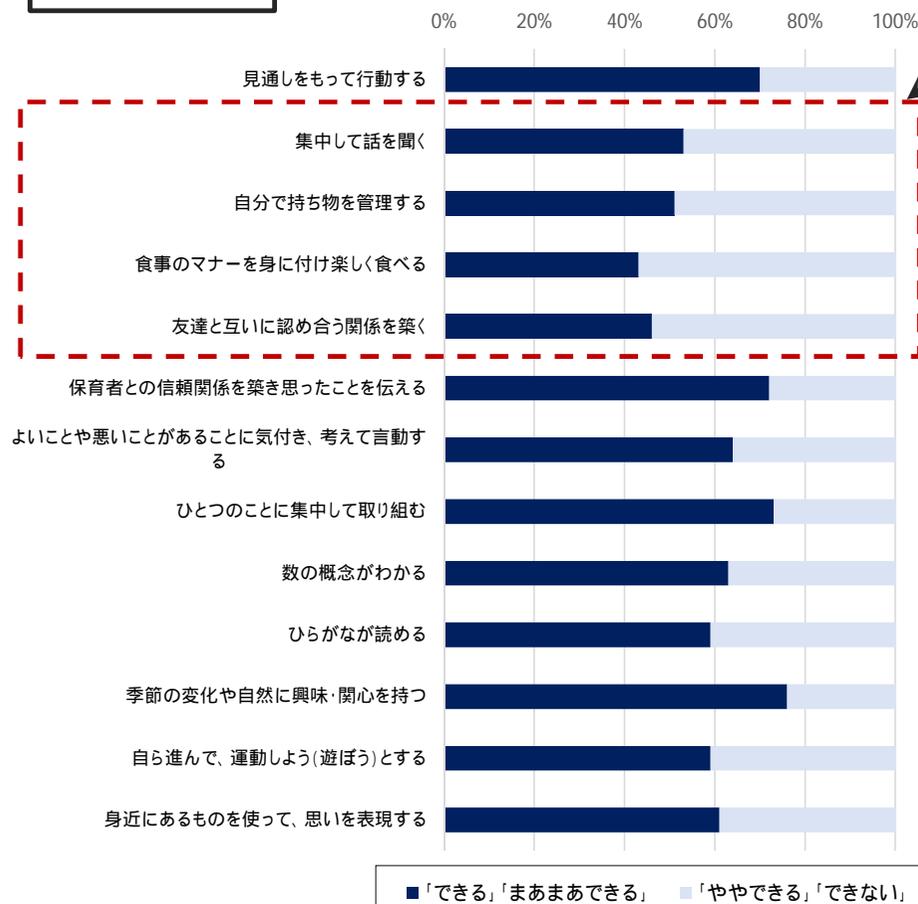
12月期には全ての項目の数値が上昇しており、6月期に子どもの姿を確認し、課題克服に取り組んだ成果が表れている。一方で、「ややできる」「できない」ままの園児も一部見られ、そのような児童については園での取組みだけでは限界があると考えられる。

## あだち5歳児プログラム 指標に関する見取り調査結果

「できる」、「まあまあできる」の数值が低い項目は、家庭における生活習慣の影響が反映される項目が比較的多い。

全体的に12月期には「できる」、「まあまあできる」の数值は伸びるが、「ややできる」「できない」とする園児も一部存在する。

28年6月期



28年12月期

